

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・すべての項目において、目標値を上回っていることから、授業改善により児童の学びをより確かなものにすることができた。
- ・昨年度課題であった「書くこと」の領域は、「書くてたのしいね」の活用により、学習の定着が見られ、どの学年も目標値を上回ることができた。

(2) 課題

- ・全体としては目標値を上回っているが、正答率の個人差は大きい。特に、知識・技能は毎年、課題が残っている。正しく漢字を書いたり、漢字の意味をもつ意味を理解したり、目的に合わせた文章を書くことができるようにしたり指導や支援が必要である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

【◎…目標値を上回った(+5以上) ○…目標値と同程度(±0～+4.9) ▲…目標値を下回った】

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	◎	/	/
第5学年	◎	○ (第4学年時)	/
第6学年	◎	○ (第5学年時)	○ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が目標値を大幅に上回っている。主語と述語の関係の正答率が低い。	正答率が目標値を上回っている。文章を書く問題の正答率は目標値と同程度であった。指定された長さで文章を書く正答率が低い。	正答率が目標値を大幅に上回っている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率が目標値を大幅に上回っている。「漢字を書く」ことの正答率がやや低い。	正答率が目標値を大幅に上回っている。課題の意図に応じて、書き表し方を工夫することができている。	正答率が目標値を大幅に上回っている。最後まで粘り強く問題に取り組んだり、よりよく表現しようとしたりする態度が育っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○漢字や平仮名の筆順や読み方、語彙がより定着するよう、物語や詩の音読、漢字や平仮名の学習に繰り返し取り組む時間を設けるようにする。	○事柄の順序に沿って簡単な構成が考えられるように、下書きメモやワークシートを活用するようにする。	○学習の内容を振り返る時間を授業の最後に設定し、達成の状況を自己評価させるようにする。 ○言葉がもつよさを感じ取れるようにし、楽しんで読書活動に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○「書くって楽しいね」を使って、作文や文法についての基本的な内容の定着を図るようにする。	○文章を書くときには、自分で読み返したり相手に伝えたりすることで、長さや目的にあった文章になっているか試行錯誤させるようにする。	○児童が「もっと深く考えたい。」と思える課題設定をし、「他の学年に知らせたい。」などの目的意識をもつことができるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○既習事項を生かしながら、新しい技能を習得することができるよう、計画的に学習する。 ○日常的な漢字の宿題や小テストの機会を意図的に設定し、既習の漢字を正しく書けるようにする。また、年2回の区漢字検定を活用し、知識・技能の定着を図る。	○「話すこと・聞くこと」において、他者の考えとの共通点や相違点を見付け、質問や感想が言う機会を多く設定する。 ○筋道の通った文章を書くことができるように、「初め・中・終わり」の構成を意識するよう指導した上で、下書きメモやモデル文を効果的に活用させるようにする。	○児童の興味・関心や疑問から課題を立てることで、相手意識や目的意識をもって学習が進められるようにする。また、タブレットを活用することで、児童が主体的・協働的に学べるようにする。 ○学習計画を全体で確認しながら学習を進めることで、めあてを明確にして学習に臨んだり、効果的に振り返ったりすることができるようにする。